

エコイベント開催ガイドラインチェックリスト

イベント名称	よかウッドフェスタ
開催期間	平成30年11月4日
開催場所	どん3の森「ふれあい広場」

1. 所属長は、イベントにおいて環境配慮を担当するスタッフを選任します。

所属名	佐賀県 農林水産部 林業課
所属長 氏名	有田 修三
担当者 氏名	鶴田 学

2. イベント企画段階で取組メニューを決め、実施予定欄に○印をつけます。

※必須取組メニューは、特段の理由がない限り、全てのイベントにおいて必須して取り組む項目です。

取り組まないものがある場合は理由を明記してください。

※発展取組メニューはイベント実施者が自主的に選択して取り組む項目です。

当該イベントにおいて、実施できるものを選択して実施してください。

項目	要件	取組みメニュー	実施予定	実施結果	「必須取組メニューのうち取り組まない項目がある場合」、「実施予定としていたものが実施できなかった場合」はその理由を記入してください
自然との共生	必須	会場選定にあたっては既存施設の活用に努めます。	○		
		イベントの開催のために開発を行う場合は、自然環境への影響を最小限にとどめます。	○		
		イベントの開催にあたり環境を悪化させた場合はその復元に努めます。	○		
		イベント開催に伴い発生する排水、騒音、振動、臭気が周辺の環境を損なう恐れがある場合は、その発生を抑制するための取り組みを行います。	○		
		植樹や魚の放流を行う際は、生態系に十分配慮します。	○		
	発展	他のイベントとの共同開催を行い、環境に与える影響を抑制します。	○		「木造住宅祭」との同時開催
3R	必須	チラシや資料等はインターネット等の電子媒体の活用など、必要部数を精査して無駄のないようにします。	○		
		イベント終了後、主催者または出展者は、余った印刷物等を持ち帰り、再資源化します。	○		
		参加者に対し、ゴミを持ち帰って分別して廃棄いただくよう、呼びかけを行います。	○		
		会場に分別回収ボックスを設置し、開催地の分別基準に従って分別収集を行います。	○		
		必要物品の調達にあたっては、九州間伐紙などの「佐賀県環境物品等の調達の推進に関する基本方針」の判断基準を満たす物品など環境負荷の低減に資する環境に配慮した物品を優先的に購入します。	○		
	発展	ゴミ箱の設置を最小限にします。	○		
		マイバッグ、マイ食器の利用や簡易包装の呼びかけを行います。			
		イベントで使用するブースはリユースできるものを使用します。	○		
		食器を使用する場合には、レンタル食器を利用することによりできるだけ使い捨て食器類を使用しないようにします。			
		会場内デポジット制度を活用する等の方法によりゴミの出にくいイベントを行います。			
交通	必須	会場の選定は、公共交通機関の利用を考慮して行います。	○		
		イベントの広報を行う際に、電車・バス等の公共交通機関での来場を呼び掛ける等、環境負荷の少ない交通手段による来場をお願いします。	○		
	発展	会場近辺で駐車場が確保できない場合や渋滞の発生が予測される場合は、会場へのアクセス手段として周辺部に駐車場を確保し、シャトルバス(パーク&ライド方式)等の効率のよい交通手段を準備します。			
		主催者や関係者の会場への集合には、公共交通機関の利用や乗り合わせを行います。	○		
		会場駐車場でアイドリングストップを呼びかけるため、看板の設置や、担当係員の配置を行います。			
		会場内の移動や会場へのアクセス、資材等の輸送手段として、環境負荷の少ない低燃費自動車やクリーンエネルギー自動車を活用します。			

項目	要件	取り組みメニュー	実施予定	実施結果	「必須取り組みメニューのうち取り組まない項目がある場合」、「実施予定としていたものが実施できなかった場合」はその理由を記入してください
省エネルギー	必須	会場選定にあたっては、広さや会場数が来場者数・イベント内容に応じて適切なものになるように選定します。	○		
		会場の照明や冷暖房は、会場の広さやイベント内容等、状況に応じて適正な調整を行います。	○		
	発展	電気機器等や水の使用にあたっては、省エネルギー型の設備や機器等を優先して使用し、電気や水の使用量を削減します。 カーボンオフセットの取り組みに努めます。			
環境啓発	必須	イベントの広報を行う際に、当該イベントで実施している環境配慮の取組（「会場内適正温度の設定」「ごみの持ち帰りの呼びかけ」「当イベントはエコイベント開催ガイドラインによりエコイベントとして実施しています」等）もあわせて周知します。 ※エコイベントとして実施していることを広報する場合は、外部に取組内容を示す必要があることから環境課でHPに掲載しますのでチェック表を環境課に提出してください。	○		
		イベントの会場内で実施している環境配慮活動（「会場内適正温度の設定」、「ごみの分別」等）を来場者にわかりやすく示します。	○		
	発展	環境に関心のある市民や団体等のボランティアと積極的に連携を図るなど、イベントを環境意識の普及啓発や環境教育の機会として活用します。			
		参加者に環境に関する情報を積極的に提供します。（地球温暖化に関する啓発コーナーを設置、電気自動車の試乗会、リサイクルに関する取組パネルの展示など） 参加者による会場一斉清掃を行うなど、自主的活動を促進します。			
運営体制	必須	環境配慮を担当するスタッフを選任し、企画段階から終了後までの環境配慮を指導・監督します。	○		
		主催スタッフ、ボランティア、出展者等への事前説明において、環境配慮の趣旨や内容を伝え、実施の徹底を求めます。	○		
		外部委託を行う場合は、委託業務の仕様書に環境配慮の項目を明記します。	○		
	発展	環境配慮について、関係機関・市町との十分な協議・連携を行います。 協賛スポンサー・出展者には、環境配慮に積極的な企業を優先して依頼します。 環境配慮が不可欠な大規模なイベントを開催する時には、計画段階から環境配慮に関心の高いCSO等の参画を求め、アイデアを広く募ります。	○		

3. イベント終了後振り返りを行い、実施結果欄にチェックを行います。

4. 実施予定としていたものが実施できなかった場合はその理由を記入してください

5. チェック結果をもとに関係者で意見交換し、改善点やよかった点などを記入して、当該イベント関連の文書等とともに保管してください。（次回イベント企画時にこのチェック表を参照し、反省点や改善点などを企画に活かしてください。）

○次回へ向けて注意すべき点、改善すべき点や、今回の取り組みでよかったと思われる点